

弾道ミサイル落下に伴うＪアラート発令時の対応マニュアル

朝霞市立朝霞第五小学校

対応		状況等	教職員の動き	児童の動き
防止・準備			◎校長 教頭 安全管理 ○教職員 安全指導 緊急速報メールを受け取れる体制づくり ●マニュアルの見直し ●校内研修の実施 ●保護者、地域との連携 （落下時の申し合わせ等）	安全学習 ・弾道ミサイルについて ・Ｊアラートについて ・身の安全の守り方 ・避難行動について
対応	第１行動	Ｊアラート発令 ・防災行政無線での特別なサイレン音 ・メッセージ 緊急速報メール ・メッセージ	校長・教頭	担任・児童
			◎第１行動指示 ミサイル落下まで１０分はあると思われるので落ち着いて判断 ・情報収集 （ニュース・緊急速報メール等） ・校内放送での情報伝達と行動指示 ①「Ｊアラートが発令されました。１０分以内に避難を完了させます。直ちに教室へ避難しなさい。（繰り返す）」 ②「担任は教室のドアと窓、カーテンを閉めてください。」 ③「児童は机の下にもぐり、中央に頭をよせ、机の脚を持ちなさい。」 ④「担任はトランシーバーを手にしてください。」 「あと〇分ほどでミサイルが落下するものと思われます。」 ⑤校長・教頭はラジオと携帯を手元に。身を守る。	○第１行動開始 ミサイル落下まで１０分はあると思われるので落ち着いて行動 ・情報収集 （校内放送） ・校内放送での児童の行動指示の補助 ①屋外・屋内問わず、自分の教室へ避難。 ②教室のドア・窓・カーテンを閉める。 ③教室の中央へ頭を向けて、机に潜り机の脚を持つ。 ④担任はトランシーバーを手元に。身を守る。
			ミサイル落下なし	ミサイル通過等
			「安全が確保されました。担任は児童の状況報告をお願いします。」	○児童の安全確認 ○状況報告 （担任→学年主任→教頭→校長）
			児童の	安全確認
			「児童の安全が確認されました。現状を復帰し、教育活動を再開してください。」	○現状復帰 ○教育活動再開

第 2 行 動	ミサイル落下	◎第 2 行動指示 ・ 児童、教職員の安全確保。 ・ 自身の身を守る。	○第 2 行動開始 ○児童を勇気付ける。 ○自身の身を守る。
	ミサイル落下後	◎第 3 行動指示 ・ 児童の状況把握 ・ 被害状況による消防・救急の要請 ・ 教育委員会への報告 ・ 学校周辺の安全確認	◎第 3 行動指示 ・ 児童の安全確認と被害状況の確認 ・ 状況報告 (担任→学年主任→教頭→校長) ・ 可能な限り教室を密封 ・ 負傷者への応急手当
安全が確保されるまで		ミサイル落下対策本部設置 ○状況把握 ○対応検討	対策本部の指示 ○対策本部の指示による対応 ○児童を勇気付ける。
安全確保		◎教育活動再開 ◎対応評価	○メンタルサポート